

自己紹介 (現在34歳・独身)

脚光を浴びる例ではないけど、移住のハードルが下がればいいなと思って...

- 1983年千葉県柏市生まれ
- 2006年東京で就職
～転職・無職時期あり
- 2013年3月愛媛県伊予市へ移住(29歳)
地域おこし協力隊として3年間従事
- 2016年4月からは複数のアルバイトなどかけもちで生計
(2017年6月より移住サポートセンターの仕事開始)
- 2018年4月愛媛県八幡浜市へ引っ越し予定。家・職探し中



2011東京・NPO



2007東京・正社員時代



2017愛媛

移住のきっかけ

- 国内外旅行が好きだった→観光から暮らすような旅へ
- WWOOF・田舎暮らし体験ツアー参加
- 東日本大震災後の東京暮らしのモヤモヤ感
- 手づくりの暮らし・農的な暮らしへのあこがれ
- 移住フェアや新規就農イベント等に参加し移住先を探す



愛媛県地域おこし協力隊合同募集説明会で伊予市を知り、人も食べ物もよさそうだったので応募

移住するまでの苦労・助けられたこと

苦労

- 移住を意識したものの、生業としてやりたいことがなく、縁のある土地も特になく移住先をどう決めるか難しかった。

(2009年夏から検討開始、2013年1月に伊予市への応募決意)

- 自分探し期間が長く、親から心配される。

助けられたこと

- 地域おこし協力隊は家・仕事つき。親の説得しやすい。
- 応援してくれた仲間・職場、そして家族。

行ってみてわかった魅力

- 人の魅力のものすごさ
- 食べ物
- 何気ない事



私の場合／ほかの移住者さん

私

- 女一人(自由、身軽⇔困難を解決する必要／助けを求めることも)
- 協力隊(安定収入、住居確保、仕事で地域ネットワークつくれる)
- 任期後2年フリーター。余韻でなんとか。
- 今後は新しい地で家族を持つので家・職ともに探し→大変さを実感中。

ほかの移住者さん

- それをはじめからやってきた。熱意と決断に敬意。
- サポートする仕事してきたが改めてその意義を感じる。



なんとか住んでるわが家

愛媛県伊予市移住サポートセンター いよりん <http://iyorin.jp/>

民間の移住相談窓口

<HP>



ごあいさつ

新しい場所で、新しい暮らしを始めてみようという人生の大きな決断を目の前にされている皆さま。

そんな皆さまのさまざまな不安や悩みをともに考え、受け入れる地域も、移り住む皆さまも、ともにハッピーな新生活が迎えられるようサポートするために「いよりん」は生まれました。

愛媛県伊予市では数年前より、地域住民が主体となって移住の受け入れを行ってきました。これを行政である伊予市が全面的にバックアップするかたちで、民間による移住受け入れのワンストップサービスとして皆さまのお手伝いをします。

わたしたちのテーマは「ともに暮らせるなかまを求めて」。
皆さまとの出会いを楽しみにしています。

愛媛県伊予市移住サポートセンター
「いよりん」

↓移住者交流会を開催



↓東京でのフェアに出展→

